

2023年度 指定管理者導入施設総合評価表

【施設概要】			所管課	文化スポーツ課
施設名	須坂市勤労青少年ホーム創造の家			
所在地	須坂市臥竜六丁目25番1号			
施設設置目的	勤労青少年及び市民の学習、交流、余暇活動の場を提供することにより市民福祉の増進に資するため			
施設概要・設備	鉄筋コンクリート造 2階建 延床面積 912.34㎡ 軽運動室99㎡、料理実習室50㎡、音楽室45㎡、創造の家事務室17㎡、 スポーツ協会事務室(相談室)28㎡、講習室80㎡、会議室45㎡、 集会室(1)64㎡、集会室(2)42㎡、談話コーナー ※スポーツ振興係事務室(図書室)35㎡は指定管理の対象外			
建設年月	1979年02月	指定管理 開始年月	2015年4月1日	

【指定管理概要】

指定管理者名	一般社団法人須坂市スポーツ協会			
指定期間	2020年4月1日～2025年3月31日まで(5年間)			
業務内容	(1) 施設の管理及び運営に関する業務 (2) 施設等の維持管理に関すること (3) 利用料の徴収、減免及び還付に関する業務 (4) 勤労青少年の保護及び福祉の増進を図るため実施する事業に関する業務			
職員体制	常勤:4名 合計:4名			
(専門職、役職等内訳)	事務局長兼創造の家館長、事務局次長、書記2名(専任1名、兼任1名)			

1 施設利用状況

			実績				
項目	単位	目標値	2021年度	2022年度	2023年度	対前年比	対目標値
利用者数	人	10,329	3,858	5,190	6,904	133.0%	66.8%
		※2019年度実績					
特記事項	○ 2023年度を通して、施設利用者は前年度対比133.0%となり、増加している。その理由として、須坂市が実施した軽運動室の施設環境の充実化(鏡の増設、床の張替え、大型エアコン設置など)により、使い勝手が改善され新規利用団体(ヒップホップダンス、フラダンスなど)が加わったこと等が挙げられる。						

2 収支の状況

単位:千円

指定管理者				市		
科目		予算額	決算額	科目	予算額	決算額
収入	指定管理料	12,831	12,831	収入		
	会館使用料収入	365	624			
	参加料収入	521	346			
	自動販売機収入	33	44			
	雑収入	25	64			
	教材費収入	187	143			
	収入計	13,962	14,052		収入計	
支出	人件費	5,965	5,969	支出	指定管理料	12,831
	需用費	3,790	3,659		修繕費	500
	役務費	2,396	2,381		備品購入費	858
	使用料及び賃借料	251	248			
	報償費	1,533	1,517			
	旅費	27	14		その他	0
	支出計	13,962	13,788		支出計	14,189
管理事業損益 (a)		0	264	管理事業損益		-14,189

損益 (a)+(b) 管理事業損益+自主事業損益	264
-----------------------------	-----

特記事項	収入のうち会館使用料収入が大幅増となった。
------	-----------------------

3 自主事業の実施状況

自主事業実績	2023(令和5)年度 恋活・婚活事業 ◎ BBQ交流会&トレッキング、DAY CAMP～レザークラフト体験&オリジナルスイーツづくり ○ 9月30日に開催した「BBQ交流会&トレッキング」は、新たな取り組みとして、臥竜山でトレッキングの基本を学 びながら、景色の良い臥竜公園あずま屋で軽食をし、創造の家赤松の森でバーベキューとレクリエーション(モルック)を楽しんだ。 ○ 11月11日に開催した「DAY CAMP～レザークラフト体験&オリジナルスイーツづくり～」は、創造の家の開放的 な松林のロケーションを活用し、ロープワーク、タープ設営、火起こし&石窯ピザ体験、レザークラフトカップホルダづくり、新たな取り組みとして、キャンプ焼きりんごを作り、盛り沢山の内容で参加者には大変好評だった。 ● BBQ交流会&トレッキング 参加者 4人 男:2人 女:2人 ● DAY CAMP～レザークラフト体験&オリジナルスイーツづくり～ 参加者 5人 男:3人 女:2人 ※ 令和5年度より、市との協議の上「恋活・婚活事業」を、より若者事業に特化させるために、自主事業から若者事業に組換えた。 須坂市スポーツ協会シニア等一般対象事業 ◎ 市民健康教室 ○ 前期8教室(ゴルフ、マレット、太極拳、ねこ背改善ヨガ、ラクに動ける体づくり、不調改善エクササイズ、元気アップ体操、楽しく過ごすための終活)を5月20日から8月30日まで62回開催した。 教室の反応もよく、出席率が75%を超え、体を動かしたいとの意識の高さ、健康への関心の高さがうかがわれた。教室終了後、満足された様子がうかがえ、来年度も引き続き同じ講座を企画してほしいとの声も多数あった。講師には前回までの参加者の意見をくみ取った講義内容の構築をしていただいた。 ● 受講生 72人 男:14人 女:58人 ● 参加延べ人数 487人 ○ 後期4教室(ねこ背改善ヨガ、ラクに動ける体づくり、不調改善エクササイズ、健康マージャン教室)を9月30日から2月26日まで30回開催した。 「ねこ背改善ヨガ」が定員を満たした一方、昨年度定員を満たした「免疫力アップエクササイズ」への応募者がなく中止となるなど、応募状況に差があった。来年度に向けて、開催日や開催時間など参加しやすい内容を検証していきたい。また、オンラインフォームを利用するなど、参加しやすい募集方法を見直していきたい。(2月から追加開催をした健康マージャン教室において試行した。)参加者からは、体の改善が実感できた、参加し良かった、次回も参加したいなど、満足された様子がうかがえた。 ● 受講生 43人 男:8人 女:35人 ● 参加延べ人数 241人
--------	--

単位:千円

自主事業名	収入	支出	備考
創造の家秋のフェスティバル	116	116	収入:参加料等、支出:消耗品費等
市民健康教室	570	570	収入:参加料等、支出:消耗品費等
合計	686	686	自主事業損益(b) 0

4 利用者評価

①利用者要望の把握	(1)利用者要望の把握方法(時期・方法・回答数等)
	○ 時期・・・随時 ○ 方法・・・施設利用者から直接聞き取り調査をし、所定のアンケート用紙に記入 ○ 年1回の利用者会議(各施設利用団体)における意見聴取 ○ 年2回の管理施設専門委員会(委員5名全員が施設利用者)における意見聴取 (2) 調査等の結果 ○ 施設利用手続き、職員対応に関する苦情はなかった。施設利用についての提案をいただいた。
②利用者からの声	(1)良好とする評価
	○ エアコンをつけて頂いたので快適に体を動かすことができた。 ○ 冷・暖房器の設置を行っていただいた事、快適に卓球ができ感謝しております。 ○ 卓球台のネット、ラジオ体操のカセット、得点版のマジックテープの修繕等即対応に感謝している。 ○ 整理整頓が常に行き届いていて、大変気持ちよく使わせていただいております。 ○ 階段脇の、折々の活け花は潤いを与えてくれて、心が和みます。 ○ 夏は涼しく、冬はストーブも沢山用意していただき、快適に活動することができました。 (2) 苦情・改善の要望 ○ 運動靴を履いたままトイレに入れるよう、他の施設にもあるようなスリッパを用意してもらえると有難い。 ○ 晩秋から冬期にかけ日が短く暗いので、駐車場までの道中街灯をつけてもらいたい。
③対応措置	○ 屋内トイレで上履きを履いたまま入れるスリッパを購入した。 ○ 創造の家敷地通路の道中街灯を数か所設置した。

5 項目別評価			評価	評点
1	指定管理者の健全性	団体の財務状況(※営利企業のみ)や組織体制は、他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か	○	2
2	施設利用状況	施設の利用者数や稼働率は適正であるか	◎	3
		施設の利用者数や稼働率を維持、向上させるための取り組みや工夫がおこなわれているか	○	
3	財務状況・経理	指定管理業務会計と自主事業や団体の会計を区別して、適正に管理しているか	○	2
		収支予算に基づき、予算の範囲で適切な支出が行われているか施設運営に必要な経費の支出がないか	○	
		収入増加への取り組みを行い、その効果はあったか※無料施設は対象外	○	
		経費節減への取り組みを行い、その効果はあったか	○	
		経理帳簿や伝票等の保管、現金の取扱は適切に行われているか	○	
4	施設運営管理	協定書に定められた閉館日、開閉館時間等を遵守しているか	○	3
		日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	○	
		利用者が快適に利用できるよう、施設の清掃や整理整頓が行われているか	◎	
		施設の備品を適切に管理しているか	○	
		必要な修繕は適切に実施され、市に報告しているか	◎	
		協定書等で定められた事業計画・報告書、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	○	
		業務の第三者委託の範囲、理由、委託先は適当であるか	○	
		省資源・省エネルギー、廃棄物減量等環境への配慮がされているか	○	
5	職員体制	施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	○	2
		職員の資質・能力向上を図る取り組みや研修がなされたか	○	
		労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか	○	
6	利用者サービス	利用者に対する職員の接客マナー(言葉づかい、態度、服装等)は適切か	○	2
		障がい者、子ども、高齢者等の利用に配慮した管理・運営がなされているか	○	
		特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	○	
		地域や地域住民との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域交流の支援を実施しているか	○	
		アンケート調査や意見箱等により、利用者からの意見や苦情等を把握し、施設運営に反映する仕組が整っているか	○	
7	安全対策・危機管理	危険箇所の把握や対応マニュアルの策定等、事故防止や安全確保のために必要な対策が講じられているか	○	2
		事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	○	
		必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求の対応措置が講じられているか	○	
		利用者名簿等の個人情報適切に管理されるとともに、職員研修の実施等、漏洩防止の対策が講じられているか	○	

評点

- ・各項目の評価に◎があり、その他は○…3点
- ・各項目の評価がすべて○…2点
- ・各項目の評価に△があり、×はない…1点
- ・各項目の評価に×がある…0点

総合評価

- A (優れている) 合計15点以上
 B (適正) 合計14点
 B' (若干の改善が必要) 合計11点～13点

評価基準

- ◎ … 協定、事業計画に基づく管理運営や事業の適切な実施かつ期待以上の成果。
 ○ … 協定、事業計画に基づく管理運営や事業が適切に実施されている。
 △ … 協定、事業計画に基づく管理運営の一部が予定どおり実施されていない。
 × … 協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が行われていない。
 市の指導を受けても改善が図られない。

6 指定管理者による自己評価

(1) 施設利用者数について

須坂市スポーツ協会が創造の家指定管理業務を受託して、2024年3月末で9年が経過する。この間の施設利用者数を概観すると、第一期目の5年間は、2015年度9,344人、2016年度10,121人、2017年度9,763人、2018年度10,423人、2019年度10,329人と、順調に推移して来た。2018年度の施設利用者数は、市が施設を直営管理していた2014年度の6,414人と比べ、1.63倍となっていた。

一方、第二期の4年間(2019～2022)は、コロナ禍の影響を大きく受けた。2023年度の利用者数は、1ページ記載のとおり6,904人と2022年度対比133.0%となったが、コロナ禍前の2019年度の6割の数字となっている。

これは、市による施設改良工事(軽運動室の床張り替え(2021年度)、鏡増設(2022年度)、大型エアコン設置(2023年度)など)に伴う使い勝手の向上と、利用者の立場に立った丁寧な窓口対応等が、回復の一助になっているものと思われるが、以前の水準までは回復していない。

(2) 今後の課題について

まずは、大幅に減少した施設利用者を回復することが課題であるが、施設管理業務と事業推進・運営業務の基本目標に沿って運営をして行くことが大事である。今後も、①施設利用者が常に安全・安心・快適(気持ち良く)に施設を利用できる環境を整備すること。②利用者満足度を向上させ、利用者の拡大・利用率を向上させることの2つの目標を念頭に、施設の適切な管理・運営に努めたい。

その為には、職員体制を含め、時間外勤務・休日勤務など、仕事量と品質について市と引き続き協議する必要がある。

(3) 次年度以降の取り組みについては、以下の対策を講じながら適切に管理運営を行っていきたい。

- ① 2024年度から新たに3事業の名称を変更することにより、より市民により親しみやすく利用いただける施設、40年を超える若者事業のノウハウを活かし、2024年度からも更に地域社会に貢献することを目指していく。
 - 若者事業は「アクティブライフ」とし躍動的な生活をおくり、一人ひとりが自分に合ったスタイルでカラダを動かすことを目的とする。
 - 市民健康教室は「ヘルシーライフ」とし年齢を問わず希望される市民の皆様に、スポーツや文化活動を通して、健康づくりと豊かな人生を送ることを目的とする。
 - 婚活事業は「恋活・友活(旧婚活)事業」とし、創造の家のアクティブライフ(旧若者事業)やイベントノウハウ、講師等のネットワークを活かし参加しやすい事業を、スポーツ協会として市の仲間づくり、出会いの場を提供する。
- ② 今まで創造の家を利用している既存の利用者への対応(職員が笑顔で接客・対応をする等、安心・安全に施設利用していただく為の施設管理)を更に心がけ、また新規利用者の開拓のため施設の案内表示や飾りつけをリニューアルしたり、広報等、HP、SNSでの誘客、施設利用用途の拡充等を充実させること。
- ③ 主催事業の勤労青少年対象のニーズにあった新規教室を立ち上げ、より多くの若者に受講者またサークル参加者として利用いただくこと。
- ④ 自主事業で多くの一般市民の方々に施設を知ってもらい利用いただく為に、より魅力のあるイベント、教室等(秋のフェスティバル、ヘルシーライフ(旧市民健康教室)、若者の出会いのイベント等)を開催すること。
- ⑤ 若者一辺倒ではなく、40歳を超える市民の利用の為、また、職員の働き方改革の為休館時条例改正を引き続き検討してほしい。
- ⑥ 宿泊事業調査事業の結果を踏まえ、事業収入は指定管理者の自主財源となるよう取り図られたい。

7 市による総合評価

軽運動室の修繕、エアコン設置などによる環境改善に加え、丁寧な利用者対応と、館内の毎日の整理整頓により、利用屋気持ちよく利用いただき、利用者の33%増、会館使用料の倍増に繋がっている。